

指定管理者評価票(評価対象年度:令和3年度)

施設名	しんまち児童館, 第一新町学童保育所, 第二新町学童保育所及び戸倉学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 こどもの森	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し, 適切な遊びと生活の場を与え, 健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供, 子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	累計	
収入	82,688,000	86,632,468	85,088,984	254,409,452	
収入内訳	指定管理料	82,688,000	86,632,468	84,970,119	254,290,587
	利用料金	0	0	0	0
	その他	0	0	118,865	118,865
支出	76,772,698	80,885,814	80,489,004	238,147,516	
収支差額	5,915,302	5,746,654	4,599,980	16,261,936	

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収 確の支 性適計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき, 適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書等に基づき, 適正に業務が実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	協定書等に基づき, 守られていた。新型コロナウイルス感染拡大の状況において, 市と連携しながら, 陽性者が発生した場合の対応も含めて, 感染拡大防止対策を講じたうえで, 必要な保育を提供した。新町学童保育所で1件一日保育の把握ミスがあったが, その後適切に対処し改善している。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され, 執行体制が明確になっていたか	4	仕様書等に基づき必要な職員を配置し, 毎月のシフト表により勤務体制が明確化され, 業務遂行がなされている。新型コロナウイルス感染拡大の状況においても, 適切な保育を提供するために, 必要な職員が配置されていた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者, 放課後児童支援員等の必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され, 必要な報告がされていたか	3	個人情報には十分留意して書類を執務室内等に適正に保管し, 仕様書で定められている各種報告を適切に市に報告している。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	快適な施設環境を維持するため, 職員が施設全体を定期的に清掃・消毒を行っており, 清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	点検・検査などについては, 確実に実施していた。	3	3

	令和元 年度	令和2 年度	令和3年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	しんまち児童館 24,989人 第一新町学童 46.0% 第二新町学童 48.0% 戸倉学童 85.0% <small>※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)</small>	しんまち児童館 10,726人 第一新町学童 36.1% 第二新町学童 33.5% 戸倉学童 51.7% <small>※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)</small>	しんまち児童館 18,097人 第一新町学童 46.4% 第二新町学童 42.0% 戸倉学童 65.5% <small>※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)</small>	しんまち児童館 17,937人 第一新町学童 42.8% 第二新町学童 41.2% 戸倉学童 67.4% <small>※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)</small>
利用者満足度(%)	しんまち児童館 74.0% 第一新町学童 84.7% 第二新町学童 77.8% 戸倉学童 86.0%	しんまち児童館 96.5% 第一新町学童 93.3% 第二新町学童 93.3% 戸倉学童 86.0%	しんまち児童館 83.0% 第一第二新町学童 96.2%(44.8%) 戸倉学童 95.3%(54.0%) <small>※()内は「未回収」を含めた利用者満足度</small>	しんまち児童館 84.5% 第一新町学童 91.4% 第二新町学童 89.1% 戸倉学童 89.1%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度	
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケート調査では、運営内容全般に関して高い満足度が得られた。	4	3	
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	新型コロナウイルス対策のため、行事実施の制限はあったが、利用者のニーズを把握して各種事業の企画運営を行い、サービスの向上に努めていた。	3	3	
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	業務にふさわしい動きやすい服装を着用していた。現場での利用者に対する丁寧な対応や利用者の満足度が高かったことを評価した。	4	3	
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	学童保育所で1件のクレームがあった。保護者への適切な謝罪を行い、解決をした。今後の改善策も図られており、適切に対処していた。	3	3	
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報が入った書類については、鍵のかかるキャビネットに保管し、個人情報が含まれているデータはインターネット等に繋がらないパソコンを使用するなど、個人情報を適切に取り扱っていた。	3	3	
	業務に必要な研修を実施していたか	3	法人独自の研修実施の他、市主催の研修などに参加していた。	3	3	
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	障害のある児童等については、基本は1対1で職員を配置しサポートや個別の対応を行っているが、必要がある時は複数の職員で対応するなど子どもが安心して過ごせるように努め、子ども同士の関わりあいのサポートや個別の対応を行っていた。障害の有無に関わらず同じような経験を積むことができるような保育を心掛けて実施していた。	3	3	
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)					
施設水準の特性に応じた評価	自然災害等への対応	4	子どもの目線から危険箇所を把握し、安全に配慮した環境設定を行っていた。施設の設備の不具合や破損については、その都度市へ報告するなど安全確保に努めていた。地震・火災・不審者避難訓練を定期的実施し、有事の際の体制を整えていた。また、新型コロナウイルス感染症への対応についても、市と連携して必要な対策を講じ、児童の安全確保を図りながら、事業を実施していた。	4	4	
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	学校および放課後子どもプランとの連携を図り、日々の活動状況について、保護者及び学校等と情報交換を行うことにより、児童への適切な支援に努めていた。	3	3	
	配慮を要する児童への対応について	4	障害のある児童等については、基本は1対1で職員を配置しサポートや個別の対応を行っているが、必要がある時は複数の職員で対応するなど子どもが安心して過ごせるように努めていた。また、アレルギー児については、保護者からの医師の診断書に基づき配慮事項に基づいて、様々な工夫をしながら適切に対応していた。配慮を要する児童への支援に関する研修にも参加し、スキルアップに努めていた。	4	3	
主管課長の評価						
総合評価		評価の理由等			前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>児童館では、新型コロナウイルス感染症対策のため、開館時間等の制限がある中で、利用者が安心して利用できるよう行事実施を臨機応変に行い、孤立しがちな親子が楽しめる居場所となっていた。また、こまめに関係機関と情報共有することによって、地域とのつながりを継続することができた。また、学童保育所では、安心安全な保育を行うとともに、配慮を要する児童の対応も必要に応じて複数の職員を配置して丁寧に行っていた。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況において、市と連携しながら、陽性者が発生した場合の対応も含めて、感染拡大防止対策を講じたうえで、必要な保育を提供した。</p> <p>両施設とも大きな事故もなく、安定的な運営が図られており、引き続き、利用者のニーズに対応した効果的な運営を期待したい。</p> <p style="text-align: right;">主管課長：子ども子育て支援課 氏名：佐藤 久美子</p>			3	3
指定管理者の評価						
総合評価		評価の理由等			前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>来館者のニーズに合わせて運営することが出来た。また、小中学生の居場所づくりや、落ち着ける空間を提供していき職員との人間関係の繋がりができピーターになってくれた。児童館も例年よりも開館日数も少なくイベントもなかったが、来館された方には積極的にお話ししたり、相談にのった。新しい玩具も購入した。学童保育所では、昨年度実施できなかった遠足などのイベントを行った。なかなかできなかった所外での活動に、子どもや保護者から喜びの声が多く聞かれた。土曜日に児童館に来館する学童児も多く、しっかりと信頼関係を構築することが出来た。</p>			4	3
指定管理者評価委員会の評価						
総合評価		評価の理由等			前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>利用者満足度は例年高い水準で推移しており、特に学童保育所においては、新型コロナウイルス感染症の拡大期にあっても人員配置を維持し、必要な保育を提供した点を高く評価する。また障害のある児童等、配慮が必要な児童へ必要に応じた柔軟な対応がなされていたことを評価する。一方で、開所時間の確認漏れにより学童保育所児童の受け入れが遅れた件については、大きな事故につながる恐れもあり、事態を重く受け止め、再発防止及び市への報告の徹底を求める。</p> <p>前年度指摘した、一般管理費及び租税公課について内訳及びその算定方法を示すこと、また事業計画書と事業報告書は比較し達成度が分かるような記載にすることについては、公共サービスの担い手として十分な説明責任を果たすべく改善に努めていただきたい。</p>			3	3